

今月の 新刊紹介



知っておきたい変更点 NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020

著：上鶴重美／T.ヘザー・ハードマン
発行：医学書院
定価：本体 2000 円＋税

『NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020』では何がどう変わったのか。注目の看護診断を補助する新カテゴリーの「ハイリスク群」「関連する状態」や、看護診断の根拠とした診断指標・危険因子・関連因子がアウトカムと介入にも連動することが一目で分かる「臨床推論モデル」を解説。



医療福祉総合ガイドブック 2018 年度版

編集：NPO法人 日本医療ソーシャルワーク研究会
発行：医学書院
定価：本体 3300 円＋税

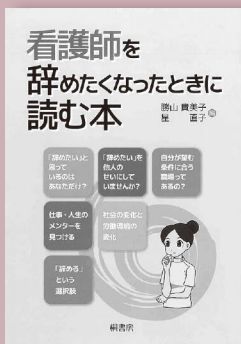
医療・福祉サービスを利用者の生活場面に沿って解説したガイドブックの 2018 年度版。医療ソーシャルワーカーをはじめ、退院支援や訪問看護に関わる看護師、ケアマネジャーなど、多くの医療者の定番書。医療福祉制度と利用者をつなぐツールとして、相談に素早く、確実に対応するための 1 冊。



対話する医療 人間全体を診て癒すために

著：孫大輔
発行：さくら舎
定価：1600 円＋税

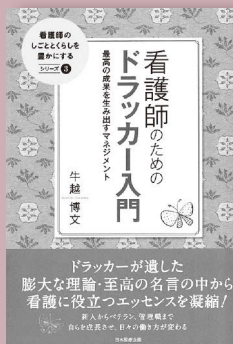
今、医療現場では「対話」の重要性が再認識されている。本書では、「対話する医療」をテーマに実践を重ねてきた著者が、「家庭医療」「医療コミュニケーション」「地域・コミュニティ活動」「医学教育」の場における実践から、医療者と患者の対話と共感が生み出す、新たな医療のありようを示す。



看護師を 辞めなくなったときに読む本

編：勝山貴美子／星直子
発行：桐書房
定価：本体 1300 円＋税

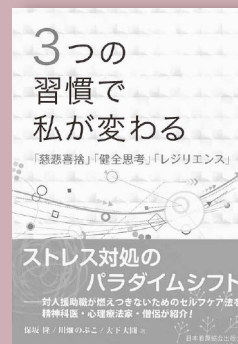
新人看護師が病院を辞めなくなったとき、働くことへの考え方、感じ方を振り返り、気持ちをクールダウンさせるための本。辞めることも 1 つの選択肢としながら、「辞めたい」を乗り越えるための多様なアドバイス、管理職からの経験談を交えたコラム、経験豊富な先輩たちの体験談を取り上げている。



看護師のための ドロッカー入門 最高の成果を生み出すマネジメント

著：牛越博文
発行：日本医療企画
定価：本体 1500 円＋税

病院看護部の組織運営をいかに向上させていくかについて、ドロッカーの経営理論を抽出・応用した解説書。看護師の価値とは、看護部におけるリーダーシップとは、看護部のミッションとは、看護師の成果をどう評価するか、どのようにイノベーションを起こすのかという観点から、現場で役立つエッセンスを 1 冊に凝縮。



3つの習慣で私が変わる 「慈悲喜捨」「健全思考」「レジリエンス」

著：保坂隆／川畑のぶこ／大下大圓
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 1600 円＋税

ストレス社会をしなやかに生き抜くワザを、脳科学研究や心理療法のスキル、仏教の教えなどに基づき、精神科医・心理療法師・僧侶が紹介する。対人援助職がとらわれやすい「ねばならない」思考から転換を図ることで、燃えつきることなく、いきいきと働き続ける道筋が見えてくる。